

阿部会長からのご意見
(分野別での作業計画のため、
資料5には反映させていません)

第4章 まちづくりの目標と基本方向

めざすべき将来都市像(「わがまち・みのお」の姿)を実現するため、以下の5つの目標の達成をめざします。また、これらの5つの目標を達成するために、18の「まちづくりの基本方向」に沿ってまちづくりを進めます。

目標1. 安全・安心でみんながいきいき暮らすまち

- (1)健康は自分で守り、頼れる医療をつくります
- (2)誰もが明るくいいきいきと安心して暮らします
- (3)みんなでまちの安全と潤いをつくります
- (4)みんながいきいき働き、豊かに暮らせるまちをつくります

目標2. 子どもたちの夢が育つまち

- (1)人と人が認め合い、受け容れあう豊かなまちをつくります
- (2)子どもたちを、地域ではぐくむまちづくりをめざします
- (3)子どもたちの生きる力をはぐくむ教育を進めます
- (4)生涯にわたって学び、学びを活かせるまちをつくります

削除: 子どもも大人も、ともに育つまちをめざします

目標3. 環境共生さがけのまち

- (1)みんなで環境にやさしい生活を進めます
- (2)市街地における環境を保全し、水とみどり豊かなまちをつくります
- (3)交通基盤、交通サービスを拡充し、人と環境にやさしいまちをつくります

削除: 環境にやさしい

目標4. 「箕面らしさ」を活かすまち

- (1)豊かな自然環境を守ります
- (2)歴史・文化を後世に伝えていきます
- (3)住まい・まちなみ景観を大切にします
- (4)新たな魅力創出によって観光・産業を活性化します

削除: 山、川、緑の

目標5. 誰もが公共を担い、みんなでつくるまち

- (1)地域コミュニティが元気で住みよい地域をつくります
- (2)市民の公益活動の連携を強化し、公共の担い手をこれまで以上に多様化・多様化していきます
- (3)市民とともに行政は無駄のない経営を進め、健全な財政を次世代に継承します

削除: 市民との協働によるまちづくりを進めます

削除: 新たな

削除: については、

削除: 市民と行政が協働して開拓

第1節 目標1 安全・安心でみんながいきいき暮らすまち

すべての市民が安全・安心を感じ、いきいきと働き・暮らすことのできる活気のあるまちをつくります。

健康寿命を延ばすために生活習慣の改善をめざし、市民と行政の協働により広く健康の維持・増進が実感できるような健康づくりや介護予防などに取り組めます。また、市立病院は、近隣病院やかかりつけ医との連携の推進や救急医療の充実に努め、地域の中核病院として信頼される良質な医療を提供します。

削除: を改善し、

削除: む市民を支援し

削除: などを推進し

子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、すべての市民が、住み慣れた地域で安心して日常生活を送ることができるよう、介護・福祉サービスの充実に図るとともに、住民同士の支え合い活動を支援します。また、地域の社会資源の有機的な連携による効果的なネットワークを構築します。

市民と行政は一体となり災害対策を進めます。消防力の充実に図るとともに地域の支え合い・助け合いを促進することにより、交通事故や犯罪の低減を図り、安全・安心のまちづくりを進めます。

削除: や防犯など、まちの

削除: を守り

地域の雇用環境を整備するとともに、市内における起業支援や事業開拓支援などによって、地域の雇用機会を増やします。就職困難者に対しては、就労相談を中心に関係機関と連携することにより多面的な支援を行い、すべての市民が働く権利を実現できるまちをめざします。

消費者の利益を守り豊かな暮らしを支えるため、消費者相談の充実に図り、健全な消費生活の推進と消費者保護を実現できるまちをめざします。

目標達成のための基本方向

(1) 健康は自分で守り、頼れる医療をつくります

- ・「健康みのお21」などを通じた健康づくり運動により、健康寿命の延伸をめざします。
- ・「かかりつけ医」を持つ市民の割合の増加や救急医療の充実に、誰もが安心して医療機関に受診できるまちをめざします。
- ・市立病院は経営改革を進め、地域に良質な医療を提供します。

削除: ことを

(2) 誰もが明るくいいきと安心して暮らします

- ・制度の理解やサービスの利用促進に資する講座、地域への出前説明会等を通じ、参加者や家族からの要望、提言を汲み上げ施策に反映していきます。
- ・地域において自主的な活動が活発に行われ、その活動を地域住民やボランティアなどが一体となって支援する仕組みづくりを構築します。
- ・障害者についての理解を深め、ノーマライゼーション社会の実現をめざします。

(3) みんなでまちの安全と潤いをつくります

(4) みんながいきいき働き、豊かに暮らせるまちをつくれます

- ・事業主を中心に雇用対策と勤労者福祉に関する制度の周知に努め、雇用環境の整備を図ります。
- ・商工会議所等と連携し、起業支援や事業開拓支援などを行うことによって、地域の雇用機会の増加を図ります。
- ・職業安定所や大阪府、障害者就業・生活支援センター等の関係機関と連携し、就職困難者等の就労を支援します。
- ・消費生活センターにおいて専門相談員による相談業務を実施します。
- ・新技術、新製品、新商法等に伴い発生する新たな被害情報についての迅速できめ細やかな情報収集・提供を行います。

第2節 目標2 子どもたちの夢が育つまち

すべての市民が、国籍・性別・年齢・障害の有無などによって差別されることなく、ひとりの人間として平等に尊重されるという人権尊重の理念を基調とした、多様な価値観や文化が共生する地域社会を形成するため、国際的な交流や外国人市民の日常生活の支援、男女協働参画社会の実現に向けた環境づくりをさらに進めます。

削除: のない、

削除: を基軸とした

削除: 多

削除: を基盤としながら

削除: を

子育ては、それぞれの家庭の自主性を尊重しつつ、同時に、社会全体の課題としてとらえ、仕事と家庭の両立支援施策の充実や、家族が孤立しないよう、相談窓口や交流の場に関する情報提供に努めます。また、虐待予防の取組を進めるとともに、市民・行政による地域ネットワークづくりや、子どもたちが安全かつ豊かに育つ環境づくりに取り組み、子どもも大人も、ともに育つまちをめざします。

子どもたちの豊かな育ちと確かな学びを支援し、生きる力をはぐくむための教育を推進するとともに、幼稚園・保育所・学校と家庭・地域がより一層連携した特色ある教育活動を進めます。また、子どもたちや学校にかかわるすべての人々にとって、安全で快適な教育環境の整備に努めます。

削除: 学校・幼稚園・保育所

市民が自主的に学び、交流する学習・スポーツ機会の保障を図るとともに、地域の課題、社会的な課題を発見・学習する機会を充実させます。また、学んだことを地域社会で活かす取組を支援します。そのことにより、地域社会の多様性、つながり、支えあいを生み出し、新たな文化創造を進めます。

目標達成のための基本方向

(1) 人と人が認め合い、受け入れあう豊かなまちをつくります

- ・すべての人が、一人の人として等しく尊重され、互いに認め合う社会をめざします。
- ・外国人市民の人権が尊重されたコミュニティの醸成に努めます。
- ・男女がともにいきいきと暮らせる地域社会をめざします。

(2) 子どもたちを、地域ではぐくむまちづくりをめざします

- ・家庭における子育てを多面的に支援します。
- ・地域の人と子育て世代の交流などコミュニティの活性化を促進し、子育てを支援します。
- ・ひとり親家庭や共働き家庭の保護者が安心して働ける子育て環境を整えます。
- ・子育てに関する情報を提供し、相談できる場を確保します。
- ・地域ネットワークのなかで、子どもの安全、親の子育てを支援します。

削除: 子どもも大人も、ともに育つまち

(3) 子どもたちの生きる力をはぐくむ教育を進めます

- ・子どもたち一人ひとりを大切にしたいきめ細かい教育に系統的に取り組みます。
- ・学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもたちの教育を推進します。

(4) 生涯にわたって学び、学びを活かせるまちをつくります

- ・市民の自主的な生涯学習・スポーツ活動を振興します。
- ・地域課題、社会的課題の発見・学習機会を充実します。
- ・学習成果を地域で活かす取組を進めます。

環境にやさしい循環型のまちとするために、学校、地域、事業所での環境教育や交流活動などを通じて、環境に配慮した生活や事業活動の普及を進め、電気・ガス・水道などの省エネルギー・省資源を推進し、経済的にもメリットがあり、環境にもやさしい生活や活動を広げます。

市民生活や事業活動の中で、将来、廃棄物となるものは、発生源で抑制し、併せて廃棄物を減量し、再利用し、再資源化するなどの取り組みを進めます。そのうえで、やむを得ず廃棄物となるものは、適正に処理します。

市街地の緑化や市街地における緑地の保全を進め、ヒートアイランド対策としての効果を高めるほか、緑や自然エネルギーなどを取り入れた環境共生型の住宅や事業所の普及・促進を図るなど、地球温暖化の抑制に寄与し、快適で環境にやさしいまちづくりを進めます。また、雨水の活用や水辺環境の保全による潤いのあるまちづくりを進めるとともに、環境に配慮しながら上水道の安定供給、下水道（汚水・雨水）の適切な排水を進めます。

自家用車への依存度が高いことから、公共交通への転換や低公害車など環境にやさしい交通手段の普及を進め、併せて、歩行者・自転車の安全や円滑な自動車交通のための道路ネットワークの整備や保全に取り組みます。市民の高齢化が進むなかで、自動車による環境負荷を軽減するためにも、市内の移動が容易にできるバス路線網の整備などバスの利便性向上を図るとともに、都心へのアクセス強化等にも寄与する鉄道延伸など公共交通の充実に取り組みます。広域的な交通基盤の整備にあたっては、環境への配慮に十分留意するとともに、過度な財政負担とならないよう、慎重に取り組みます。

目標達成のための基本方向

- (1) みんなで環境にやさしい生活を進めます
 - ・省エネ行動、自然エネルギーの利用を進め、環境にやさしい暮らしを広げます。
 - ・ごみの減量と再資源化を進めます。
- (2) 市街地における環境を保全し、水とみどり豊かなまちをつくります
 - ・まちの緑を守り、環境共生型のまちづくりを進めます。
 - ・雨水の活用などにより、健全な水循環再生を進めます。
- (3) 交通基盤、交通サービスを拡充し、人と環境にやさしいまちをつくります
 - ・公共交通の利用を促進し、マイカー依存を軽減します。
 - ・人にやさしい道路を充実し、安全で円滑な交通を確保します。

第4節 目標4 「箕面らしさ」を活かすまち

箕面大滝を含む「明治の森箕面国定公園」を核としたみどり豊かな自然環境、市域を流れる河川、市街地に残る農地、ため池、里山などは、本市を特徴づける重要な地域資源であり、住宅都市、観光都市としての本市の発展を支えてきました。

削除: 大きな要素で、

市民、事業者、行政はこれらの地域資源とそれを基盤に形成されてきた歴史や文化、住環境、まちなみ景観、観光や産業にさらに磨きをかけて、個性のあるまちづくりを創造し、「箕面らしさ」としてこれを次世代へ引き継いでいきます。

削除: 魅力と価値をあらためて認識し、これからの箕面にふさわしい自然環境、

山間・山麓部の緑は、山なみ景観、動植物の保全など、多面的な機能を果たしており、今後も、国や府との連携を綿密にするとともに、山林所有者の協力のもと、市民、事業者、行政が協働して森づくりを進め、山間・山麓部に対する親しみと誇りを醸成しながら、質の高い自然環境を維持します。

また、緑豊かな自然環境など本市の特徴を活かした住環境とまちなみ景観の維持のため、市民、事業者、行政それぞれが自らの役割を果たすとともに、「住環境を自らが守り育てる」という意識を共有し、互いの協力のもとに地域特性に応じた取組を進めます。

削除: 良質な

山岳信仰の場として知られる名勝箕面山をはじめ、市内各地に残る豊かな歴史や伝統を後世に伝えていくために、市民が箕面の歴史や文化に触れる機会を作るとともに、市民や地域と協力して伝統的な行事などが引き継がれるように取り組みます。それとあわせて、これからの箕面にふさわしい新しい文化を創造する取組を積極的に支援していきます。

削除: について知り、

また、市域の歴史的な建造物や街道など魅力的な資源の価値を再発見し、市民と行政が協力して磨きあげていくことで、観光客の集中する秋の紅葉の時期だけでなく、年間を通じた観光まちづくりを進めます。

農業については、農業者だけでなく、市民、事業者、行政が協力・支援する体制を充実させ、地産地消の土壌づくりを進めます。商店街をはじめとする地域商業の活性化のために、地域の農産物や特産物をはじめ、地域の特性を活かした魅力のある商品やサービス、店舗づくりを進めるとともに、市民と事業者が支え合う関係を支援します。産業の振興については、産官学の連携による学術研究機関やパイオ関連産業など、環境負荷の少ない企業の誘致を彩都や箕面森町をはじめ、市域各地の特性や立地環境を活かして進めます。

削除: 始

目標達成のための基本方向

(1) 豊かな自然環境を守ります

- ・山、川、緑の自然環境を大切にすることを高め、市民、事業者、行政の協働による保全活動を広げます。

削除: 山、川、緑の

(2) 歴史・文化を後世に伝えていきます

- ・市民が箕面の歴史・文化に誇りを持ち、子どもたちに伝えていきます。

(3) 住まい・まちなみ景観を大切にします

- ・景観に配慮した美しいまちなみや住環境を守り育てていきます。

(4) 新たな魅力創出によって観光・産業を活性化します

・文化創造の取組を積極的に支援します。

・観光資源をより一層充実させ、四季を通じて快適で魅力ある観光地とします。

・商店街に活気を取り戻します。

・地産・地消を活発化します。

削除: が増え、

第5節 目標5 誰もが公共を担い、みんなで作るまち

地域社会では、都市化や核家族化の進行によって、隣近所など人と人との繋がりが希薄になり、従来形成されていた地域コミュニティのもつ互助機能が弱まりつつあります。これからは、市民、事業者、行政がそれぞれの役割を明らかにするとともに、誰もが主体的に公共を担い、地域の課題や情報を共有しながら、魅力あるまちづくりを進めていく必要があります。

地域では、様々な主体が連携し、助け合って地域づくりを進めます。そして、小学校区程度の地域を単位として、多様な主体が参画し、地域課題を集約し解決していく仕組みを市民とともに構築します。

また、多くのNPOやボランティア団体等の公益市民活動団体がそれぞれの主体性や自立性を保ちながら総合力を発揮できるよう、それらの団体相互間の連携を強化します。そしてそのうえで、多様な公益市民活動団体と行政とが、対等な関係（パートナーシップ）で相互に協力し合ってまちづくりを担う仕組みを確立し、元気な箕面のまちの実現に取り組みます。

将来にわたって箕面市が輝き続けるまちとなるよう、厳しい財政状況を克服し、経営の健全化を進めます。行政が担ってきた業務を見直し、市民ができることは市民が担い、市民と協働でできることは協働で担う仕組みを整備したうえで、行政は行政でなければならない業務に集中して、行財政運営の一層の効率化を進めます。また、政策形成過程における市民参加の機会を増やし、市民の意見を市政に反映しながら、市民の理解と協力を得て行財政運営の健全化を進めます。

目標達成のための基本方向

- (1) 地域コミュニティが元気で住みよい地域をつくります
 - ・自治会活動をより一層活性化し、隣人同士の助け合いの和を広げていきます。
 - ・地域の課題は地域コミュニティの各団体が協力して解決していきます。
 - ・地域のビジョンや計画を策定し、地域主導で住民自治を進めていきます。
- (2) 市民公益活動の連携を強化し、公共の担い手をこれまで以上に多様化・多元化していきます。
 - ・多くの市民がNPOやボランティア活動に参加できるような社会基盤の整備を進めていきます。
 - ・公益市民活動団体の組織化、自立化を進めていきます。
 - ・公益市民活動団体相互間のネットワークを強化していきます。
- (3) 市民とともに行政は無駄のない経営を進め、健全な財政を次世代に継承します
 - ・市役所の仕事をより一層効率化し、組織も人もスリム化します。
 - ・市民の意見を政策決定に適切に反映する仕組みを作ります。
 - ・財政の状況が市民にわかりやすく報告し、市民の理解を得たうえで、行財政運営の効率化を進めます。

- 削除：、
- 削除：市民活動
- 削除：が
- 削除：こうした市民公益活動を行う団体のネットワークを活用し、
- 削除：を通じた
- 削除：など
- 削除：機能
- 削除：が活力を取り戻し
- 削除：新たな公共の担い手については、これまで以上に市民と行政が協働して開拓していきます
- 削除：市民との協働によるまちづくりを進めます
- 削除：公益活動や
- 削除：しています。
- 削除：の
- 削除：を進めて
- 削除：が
- 削除：され
- 削除：されています
- 削除：が
- 削除：されています
- 削除：され
- 削除：理解されています